



在京古高同窓会会報
第70号
<http://在京古高同窓会.com>
 〒350-0214
 坂戸市千代田 3-21-3-903
 在京古高同窓会事務局
 阿部 眞
 ☎・FAX (049) 227-6547
kawagoemiyagi
@outlook.jp
 編集長：亀井 明
 印刷：(株)ケーヨー

コロナに鍛えられる

会長 伊藤 健二



初めに

6月の総会で会長を拝命いたしました伊藤健二です。先輩諸氏を前にして、もとより会長の任にあらずと自覚しております。ただ、会長という名前にこだわらず、母校と同窓生、そして同窓生のつなぎ役に徹して、鹿野会長の後任としてこの会を盛り上げていくことにお役目と改めて考えた次第です。昭和48年卒、現在の加美町旧中新田の出身です。在仙同窓会の鈴木忠司会長とは同級生でかつ実家はすぐ近く、いわば竹馬の友が一緒と同窓会を盛り上げていくというお役目を不思議な縁だと思っております。

コロナで試される

前の職場は政府系金融機関におりました。コロナの不安のピークであった2020年を振り返ると、3月の政府の緊急事態宣言の発出以降、経済活動の停滞の不安から、申込は急増どころか未曾有のもの

になりました。平時には1日当たり千件程度の申し込みであったものが、最大で2万件を超えるものとなりました。

そのために、他の業務を止め、OBにも復帰してもらい、4月の定期人事異動を止めて、対応に当たりましたが、十倍を超える申し込みの山はそうた易いものではありません。その度に、報道の常態はありますが、「公庫はバンク状態」、開店前に支店に並ぶお客様の列の写真などセンセーショナルなものでした。

しかし、大量の融資がフリーランスを含む中小企業の経営の安定、不安の鎮静化に役立ったことは間違いありません。これは報道されませんが、平時に戻ろうとすると、焦げ付きが懸念、ゾンビ企業を生きながらえさせるなどのコメントが出始めるのは、目立つ内容を書くことだけが使命なのかと疑問に思います。

でも、平時のつながりが意味のあるものと確認できたことも多々ありました。商工会議所や商工会などの中小企業の支援機関とのつながりは、申込書類の準備のサポートをしていただき、民間金融機関とのこれまでの連携は、つなぎ

一在京同窓会メモ一

- ・会計年度は4月-翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次回会報第71号は2023年6月1日発行予定、原稿は常時受付。

融資や企業の現状把握のご協力を得られました。

これまでの連携や信頼関係が結実したものです。

一方、デジタル化の遅れも際立たせ、これは今後のDXの推進の起点になりました。

コロナに負けずに同窓会の活動へ

コロナの影響は社会の諸々にプラスもマイナスも与えています。リモートで仕事や授業も可能ということが浸透し、今まで必要とされていた仕組みの見直しにつながっています。現にオフィスや転勤の削減、地方での勤務の拡大にもつながっています。一方で、リモートではかなわないこともあるのは明らかで、対面の機会を作っています。

在京同窓会もこれからですが、HPによる交流の拡大など、デジタルで対応することも今後の課題ですが、まだ道筋がつけられていません。手始めにHPをご覧ください。(http://在京古高同窓会.com) また、普段の交流がない中では、まずは毎年一回の総会がその起点になります。1月の4校新年会は中止となりましたが、今年の6月24日の総会がコロナに負けず、同窓生のつながりを戻すべく2年連続でなんとしても開催するよう準備します。同窓生がたまには行ってみたいかと思えるように、努力してまいりますので、ぜひ周

囲にもお声掛けをお願いします。校歌を歌うと気持ちの高まりを感じます。参加をお待ちしています。

新年のごあいさつ
 古川高等学校長 藤川 卓志



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

在京同窓会の皆様には、日頃より本校教育活動の充実のためにご支援を頂き、心より感謝申し上げます。また、6月に開催されました定時総会・懇親会では皆様と共に楽しいひとときを過ごすことが出来ました。ありがとうございます。

令和4年度も前年度同様コロナ感染症対策に追われ、ハイブリッド型のリモート授業を行う日も多くなりました。最も多い日では全校生徒700人中400名がリモート授業を選択しました。学力や人間関係形成能力を育むためには対面の方が良いと私自身考えているところですが、大崎地区の感染者増加による生徒と保護者の不安もあり、安全に配慮した教育活動を継続しております。そのような状況ではあります古高祭、体育祭などは計画通りの日程で行い、3年生に対しても初めての経験をさせることが出来ました。多くの高校が学校行事を断念する中、古

高は自主自律の精神で自分たちの伝統を守り抜く気概を示しております。

その古高の歴史に新たな1ページが刻まれました。9月に行われた生徒会選挙で生徒会長、応援団長ともに女性が当選しました。応援団長が女性になるのは初めてのことで、PTA教育振興会から女性用の団長羽織(堂雪草入り)を寄贈して頂くことになりました。生徒会長に当選した生徒も活発な女性で、フットサル競技の宮城県代表選手であり、冬休みを挟んで4週間オーストラリアにホームステイする計画を立てています。

話は変わりますが、生徒達には折に触れ「平常心を保つために」という話をしております。他人に褒められるとうれしくなり、怒られると凹む。当たり前の反応だが、褒められただけで人としての価値が向上したり、自分の中の正義感や好き嫌いは変わるだろうか。逆に怒られたからといって、自分のスキルが減ったりはしない。「そんなことぐらいで自分の価値は変わらない」と大きく構えなさい。自分を信じ、前に一歩踏み出すことで未来は大きく広がっていく。

部活動等の近況報告は事務局長にお任せしますが、陸上部員がU16で全国大会に出場、文芸部員が2年連続全国高校文芸コンクール優秀賞に入選するなど古高の文武両道は今も生きております。在京同窓会の皆様におかれましては、今後とも本校生徒達へのご支援、ご協力頂きますようお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

古川高校同窓会

会長 伊藤 貞嘉



在京古高同窓生の皆様、明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって素晴らしい年になることを祈念しております。

新型コロナウイルスの流行が拡大しています。最近、宮城県でも感染が拡大しており、ここ白石市でも陽性者が出ました。新型コロナウイルスの感染拡大は、医療機関の経営に大打撃を与えております。特に、コロナ患者を受け入れる病院は大きな赤字を発生させています。入院したコロナ患者の看護は、重症でなくとも通常患者の何倍もの手間がかかります。特別の診療体制（場所と人員）をとらざるを得ず、一般の患者の診療が大きく制限されています。国は、このような状況に鑑み、コロナ対策による減収を何とか補助するなどの方策を立てていますが、到底支え切れるものではないようです。また、人と接触することが避けられない、老人介護施設での感染拡大も大問題です。現在は、公衆衛生学アプローチと個人の行動変容によって感

本部同窓会事務局だよ

染拡大を阻止するしかないようです。

今回のコロナ禍は医療機関に限らず、多くの分野で甚大で深刻な影響を及ぼしています。前号で、「このウイルスは世界規模の視点から、人類と人類社会の在り方に挑戦し、人類の英知を試しているかのようなのです。すなわち、「我々は、科学技術や知識にとどまらず、倫理観や価値観を勘案した総合的で賢明な判断に基づく行動を取れるか」という命題を突き付けられているのだと思います。人類社会の大きな転換期になるかもしれません。」と書きましたが、その様相はますます深くなっているようです。現在ワクチンが開発されていますが、早く実用化されて、感染が制御されることを祈るのみです。今回のワクチンは新しい方法で開発され、開発期間を大幅に短縮しました。今後新たな感染症が起った時に役立つものと期待されます。危機に陥った時には、新たなアイデアやシステムが生まれる時もあります。会議や講演会は Web で行われるのが当然となり、人の移動も大幅に減少しています。結果、地域社会の在り方にも影響を及ぼす可能性があります。地域と世界をどう結ぶかが課題となるかもしれません。職業や仕事の仕方も大きく変化することが予想されます。ポストコロナの社会が良い方向に発展することを期待したいと思います。

さて、皆様の古川高等学校並びに同窓会に対するご支援に心から感謝いたします。お陰様で、古高サポート基金も設立され、母校における学習環境等の整備に有効に

近況報告

事務局長 遠藤 直樹



活用しています。また、独自のホームページも開設しました。このような時だからこそ、お互いの連携と団結を密にしていきたいものです。

在京古高同窓会の皆様のご健勝とご発展を祈念いたします。

在京古高同窓会の皆様、新年あけましておめでとうございます。去る6月に行われた3年ぶりの在京同窓会総会には本部同窓会からも伊藤貞嘉会長と藤川卓志校長、事務局として遠藤の3名で出席させていただきました。普段聞くことのできない厳しい環境下での南極大陸観測の講演会に加え懇親会も行われ楽しい時間を過ごすことができました。改めまして御礼申し上げます。

本部同窓会総会も3年ぶりに8月11日にアインバラ浦島において実施いたしました。残念ながら飲食を伴う懇親会は中止せざるを得ない感染状況でしたが、延び延びになっていました念願の古高OB音楽家によるコンサートを実施し120名を超える参加者には大変好評を得ることができました。多くのOBの方にご参加いただきこの場をお借りして感謝申し上げます。

ます。

最近の古川高校ですが今年度初めて生徒会長、応援団長共に女子生徒が就任することになりました。特に女子初の応援団長は生徒会役員選挙の演説で築高戦にかける熱い思いや伝統の応援練習の必要性を熱く全校生徒へ訴え、選挙前の下馬評をひっくり返し当選いたしました。生徒会長と共に古高に対する思いはとて強い生徒です。で学校を引っ張って行くリーダーとして期待すると共に男子生徒の奮起に期待したいと思っています。部活動では県新人大会が行われており、陸上競技部は県高校新人大会で男子400mR、女子走り高跳び、女子ハンマー投げで上位入賞し東北新人大会に出場しました。加えて10月に愛媛で行われたU16陸上競技大会に1年生男子が150mの種目で出場しました。今年度におきまして初めての全国大会に出場となりましたがあと一歩力が及ばず決勝進出とはなりません。この経験を来年度の大会に生かして全国の舞台で活躍してもらいたいと期待しています。それ以外でも部活動も真の文武両道の実現に向けて一生懸命努力を積み重ねております。

卒業生の皆様にご協力いただいているサポート基金ですが今年度は生徒の部活動の保持に加え同窓会主催でキャリア教育セミナーを企画しているところです。現在の古高生は日本の第一線で活躍する社会人とふれあう機会がほとんど無く、自分の将来のビジョンの視野が狭く内向きの傾向にあります。そのためNPO法人の力をお借りし古高生の視野を広げ、一人でも

多く校歌にもある「日夜に行きてたゆみなく果てははてなき大海に」踏み出す生徒の一助となるよう生徒会執行部と協力して実施に向けて準備しております。企画が実施できましたら次回の会報にて報告したいと思えます。加えて同窓会サポート基金と会費の納入にもご協力いただければ幸いです。最後に令和5年度同窓会総会は8月6日(日)に大崎市古川の「グランド平成」で行う予定です。その際には是非足を運んでいただきたいと思えます。最後になりましたが新型コロナウイルスの第八波がやってきております。くれぐれも感染にご留意なさりますようお願い申し上げます。

MOTOR SPORTS OIL
FORTEC

エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。
FORTEC モータースポーツオイル発売元
耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。

代表取締役 渋谷 誠一(昭和42年卒)
フォルテック株式会社
〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台 4-5-23
TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687
<http://www.fortec-oil.com/>

総会に出席して

S59卒 高橋 克嘉

毎年、案内状が届く度に、出席してみたいと思っ...

1 総会の部

議案審議は簡潔で、ご来賓のお二方のご挨拶も素晴らしいものでした。

とくに印象的だったのは、「校歌斉唱」です。同窓生が一体となって制定110年超の歴史ある古川高等学校校歌を...

3 懇親会の部

料理は質量ともに十分だったかと思えます。プエツフェ形式で好きなものを...

4 その他

これは、他の多くの学校の同窓会にもいえることかと思いますが、若年・中堅層をいかに取り込み、未来の会を背負っ...



歌を、締めめに第一応援歌を斉唱することになりました。すると、「数十年ぶりの校歌に感動した」...

2 講演の部

地球温暖化への対策が人類の共通課題として認識されているなか、佐藤夏雄先生による講演は、環境問題への意識づけ...

<第1号議案> 令和3年度活動報告 令和3年4月1日~令和4年3月31日

Table with columns: 年月日, 活動内容, 場所. Lists activities from May 2023 to March 2024.

◎役員・幹事会：信陵会館(渋谷) 第1回：令和3年5月22日(土) 9名 総会開催中止を正式に決定...

<第3号議案> 令和4年度活動計画案 令和4年4月1日~令和5年3月31日

Table with columns: 年月日, 活動内容, 場所. Lists activities from May 2024 to March 2025.

◎役員・幹事会 定例は年間4回、その他必要事案により関係役員・幹事会を開催 第1回定例 令和4年5月21日(土)...

<第2号議案> 令和3年度 決算報告及び<第4号議案> 令和4年度 予算案

<収入の部>

Table with columns: 科目, 決算額(円), 予算額(円), 増減額(円), 備考. Shows financial data for income.

<支出の部>

Table with columns: 科目, 決算額(円), 予算額(円), 増減額(円), 備考, 令和4年度 予算額(円). Shows financial data for expenses.

〈第5号議案〉 役員選任案

今年まで2年間継続してきた役員8名全員が任期満了となりますので、役員7名の選任をお願いいたします。役員候補者は、以下の通りです。

(任期)令和4年6月30日から
令和6年定時総会まで

会長 伊藤 健二 S 48年卒(新任)
副会長 笠間 邦彦 S 46年卒
副会長 加藤 敏朗 S 48年卒(新任)
副会長 亀井 明 S 55年卒
兼編集長
事務局長 阿部 眞 S 52年卒(新任)
監事 大友 正行 S 33年卒
監事 鈴木 博 S 46年卒
現行の顧問は、以下のとおりです。

現行の幹事は、以下のとおりです。

渡辺 吉郎 S 30年卒
後藤 雍正 S 39年卒
菊地 務 S 41年卒
佐々木昭美 S 42年卒
山中 政法 S 44年卒
今川 和彦 S 46年卒
相澤 肯英 S 47年卒
菅原 祐二 S 56年卒
渡邊 博之 S 61年卒
菊地 宏幸 H 11年卒

これら1号〜5号議案は、令和4年度総会にて審議され、承認されました。

会長(新任)	副会長	副会長(新任)	副会長兼会報編集長	事務局長(新任)	監事	監事								
氏名	伊藤 健二	氏名	笠間 邦彦	氏名	加藤 敏朗	氏名	亀井 明	氏名	阿部 眞	氏名	大友 正行	氏名	鈴木 博	
														
卒年	昭和48年卒	卒年	昭和46年卒	卒年	昭和48年卒	卒年	昭和55年卒	卒年	昭和52年卒	卒年	昭和33年卒	卒年	昭和46年卒	
出身中	中新田中	出身中	涌谷中	出身中	古川中	出身中	小牛田中	出身中	古川中	出身中	松山中	出身中	瀬峰中	
部活	新聞部	部活	郷土研究部	部活	ハンドボール部	部活	(軟式テニス部)	部活	応援団(団長)	部活	軟式テニス部	部活	コーラス部	
コメント	在校時知らぬ同期でも、総会で打ち解けられます。古高つながりだけで、楽しくなります。	コメント "同窓会は楽しく"が目的。コロナ第8波が懸念されますが会員の皆様、再会まで健やかにお過ごしください。	コメント 古高で学び育ったというだけで、同窓会の皆さんとの強い絆を感じます。大切にしたいと思います。	コメント 長らく約30年にわたり同窓会活動に携わっています。「継続は力なり」画像は秋田の秘湯にて	コメント 60歳を過ぎて、ふと高校時代が懐かしくなり、気が付いたら同窓会活動にはまってしまうました。	コメント 古高時代の親友5人で夫婦同伴の「サンサン会」を作って、旅行・食事会等を行っています。	コメント 高校時代は、70歳の自分なせんでしれど、想いを正しくしていきたく感じています。							
趣味	ゴルフ。ハンデ14を目指して	趣味	理系ですが旅行&史跡巡り	趣味	観劇、旅行、ゴルフ	趣味	温泉巡り、スキー、クルマ	趣味	旅行、音楽、落語、相撲、知らないことを知ること	趣味	ゴルフ・軟式テニス・音楽鑑賞(モダンジャズ)	趣味	読書・麻雀	



TECHNOLOGY of MAGNETIC PRODUCTS

EMC対策部品

- ノーマルモードラインフィルター
- コモンモードラインフィルター

チョークコイル

- スイッチング電源用ブーストチョークコイル
- インバータ家電PFC用ブーストチョークコイル

TMP株式会社
代表取締役 佐藤勉(昭和42年卒)

神奈川県大和市大和南2-1-16 大和ホワイトビル7F
TEL 046-260-6788 FAX 046-260-1624

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー

BIP Business Integration Partners
BIP株式会社 取締役会長 佐々木 昭美 昭和42年卒

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F
TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418
東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F
TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp

今年にやめる自由投稿

3年ぶりに開催できたOB音楽家によるコンサート

昭30卒 曾根研一

渡邊義之前会長から、古高の総会でOB音楽家によるコンサートを開催したいと電話をいただいたのは、2020年1月早々のことでした。同窓会が設立されてから110年目という節目を迎えることも伺いましたので、古中・古高百年史をめぐってみると、確かに第1回同窓会総会は、1910年(明治43年)7月24日と記されておりました。

同年8月開催の総会にむけてOBの演奏家の方々に打診し、出演者が決まったところでコロナ禍が直撃、2月中旬頃から自分の仕事も続々とキャンセル通告され、自宅PCで「宅録」という名のリモート録音をして番組に音楽を提供するという経験もしました。

仕事はその後、給付金や助成金の申請でデスク仕事を中心にりましたが、6月の在京総会、8月の本部総会も当然開催できなくなり、出演のお約束ができた皆さんには当然キャンセル、翌年(2021年)も判を押したように開催中止し出演キャンセル。

2022年(令和4年)は、制限された中ではありましたが、8月11日(木・祝日)に開催されました。OB音楽家の皆さんには3度目の出演依頼でやっと実現できたのです。

皆さん、現役バリバリの音楽家なので、毎回出演候補者は変わりましたが、今回は、ヴァイオリンの工藤春彦さん(中新田出身・S47卒)、オペラ歌手の成田博之さん(高倉出身・S62卒)、クラリネットの伊藤圭さん(古川出身・H8卒)の3名、そし

てピアノ伴奏は、いつも四校新年会で伴奏をお願いしている野間春美さん(古川出身・旧古女S63卒)です。ところが、当日の3日前になって成田さんの出演不可能が判明。その頃、全国の感染者が24万人余りとピークに達し、私のまわりでも感染者が急激に増えたので、携わっているプロ合唱団の公演を取り止めたり、スタジオ録音のメンバーを変更したりと、連日その対応に苦慮している最中のことで、私自身も毎日抗原検査をして仕事に臨んでおりました。

早速、中2日になったところで、とりあえず工藤さんと伊藤さんに曲目の追加をお願いし、当日の朝古川駅で合流、10時半から会場よりハールを行いました。

コンサートの最後は、「凶南歌」を全員で演奏することを決めておりましたが、歌い手が欠場したこととマスク着用のまま会場の出席者に斉唱をお願いすることもできないので、アンコールは工藤さんのレパートリーの中から「美空ひばりメドレー」に変更、楽譜を急いでコピーし、演奏部分の担当を話し合いで決め、想定していた曲順も大幅に変更して本番に臨みました。

コンサートの冒頭は、NHK交響楽団でクラリネットの首席を務めている伊藤圭さんが「歌の翼に」と「シユールベルトのアヴェマリア」を、アンサンブルピアノリストのスペシャリスト野間春美さんのピアノ独奏でシヨパンの「小犬のワルツ」を演奏したあと、東京放送管弦楽団でコンサートマスターを務めている工藤春彦さんは、お馴染みの「カロ・ミオ・ベン」とクライスラー編曲の軽快な「踊る人形」、再び伊藤圭さんでカーペンターズの「青春の輝き」、クラリネットをだんだん小さくしていくユーモラスな幻想曲「だんだん小さく」、童謡の「夕焼け小焼け」。最後のステージは工藤さんが「椰子の実」、井上陽水の「少年時代」、鬼滅

の刃から「紅蓮華」と、昭和・平成・令和から1曲ずつ選んで演奏していただきます。急ぎまアンコールとして取り上げたのは、「悲しき口笛りんご追分(川の流れるように)」という美空ひばりメドレーでしたが、出席者の年齢層(?)を反映してか、大変好評だったようでした。

1時間半、休憩なしのコンサートでしたが、吹奏楽部とコーラス部の在校生の皆さんも席を埋め、プロになった先輩たちの演奏を熱心に聴き入っておりましたが、刺激になったと思います。

2018年の毎日新聞宮城版で、古高には音楽専門コースがなく普通科だけの高校なのに、クラシックをはじめ多くのプロ音楽家を輩出していること紹介されております。

さとう宗幸さん(S42卒)というスターも輩出しましたが、前述の演奏家のほか、最初にプロになった音楽家は、東京交響楽団で首席トロンボーン奏者を務めた金澤茂さん(鹿島台出身・S41卒)です。現在は長野県民文化会館の館長や中新田バツハールの運営にも関わっております。

仙台フィルハーモニー管弦楽団のクラリネット奏者だった千石進さん(登米出身・S45卒)と、東京フィルハーモニー交響楽団のクラリネット奏者だった伊藤正太郎さん(岩出山出身・S46卒)は共に定年退職されましたが、現役の演奏家はリヨン国立劇場のテノール歌手・成田英文さん(小牛田出身・S57卒)、ユーフォニアム奏者で同志社女子大学音楽科教授の牛渡克之さん(浦谷出身・S59卒)、東京交響楽団の首席フルート奏者・相澤政宏さん(浦谷出身・S62卒)、サクソフォン奏者で洗足学園音楽大学准教授の和田雅洋さん(小牛田出身・H1卒)、読売日本交響楽団クラリネット奏者の芳賀史徳さん(小牛田出身・H14

卒)等々、実に多くのクラシック演奏家が活躍しており、さらに、ニューヨークを拠点にしているソプラノ歌手の青木麻菜美さん(古川出身・H24卒)の成長も楽しみです。1月22日(日)に開催予定だった「四校合同新年会」でも、OB音楽家の出演を予定しておりましたが、昨今の状況を考慮して今回も開催中止を余儀なくされました。一日も早く当たり前の日常が戻ってくることを願うばかりです。

近況

昭37卒 中鉢 泰平

すっかりご無沙汰しておりますが、お元気でいらつしやいますか。

先日、キャスターのクリステルさんのお母さん美緒子さんから、フランスの作家、航空軍曹サンテグジュペリに関する本を贈っていただきました。

「星の王子さま」はご存じと思いますが、彼の人生論が見えて大変興味深いものでした。長い間のコロナ禍やさちがい人殺しのブーチンのウクライナ侵攻などやるせない時代ですが、サンテグジュペリも第二次世界大戦を舞台に、戦争に対する考えや気持ち、星の王子さまにあらわしました。

クリステルさんのお母さんと知り合いの関係で心ある方に贈らせていただきました。

私の仕事も50年間で405回の添乗で、ほぼ全世界中をご案内させていただきました。多くの方に世話になりましたが、お付き合いいただきました兼高かおるさん(旅行ジャーナリスト・世界の旅、絵本作家・安野光雅さん、俳優・宝田明さん、宮城まり子さん、坂本スミ子さんやC・Wニコル先生、仕事で大変ご指導頂いた庄司雅子先生(教育学者)、クラウス・ルーメル神父様(元日本モントネーリ協会会長・元上智大学理

事長)、岡田正章先生(元日本保育学会会長)、人見楠郎先生(元日本私立小学校連合会会長)、和田哲雄先生(元国立音楽大学理事)や幼児教育学者の岩崎先生、副島ハマ先生、村山道子先生(元埼玉県保育園協会会長兼加須保育園園長)、斎藤邦雄さん(元全社協日本福祉施設士会会長)、吉村さん(元全国社会福祉施設経営者協議会会長)、小室先生(元姫路独協大学学長)、藤本幸邦先生(長野県・円福幼稚園理事長)、川上豪先生(国立小百合幼稚園創立者、松浦新七氏(コムタイムス社長・世界ゴム業界100回視察)、インドのノーベル平和賞のマーザー・テレサなどの方々が世界して誠に残念で寂しいかぎりです。

50年間多くの方にお世話になり、世界見聞研修にお付き合いいただきご参加下さいました方々、私の人生にご指導お付き合い下さいました方々に、尊敬する方々に勝手ながら贈ることにさせていただきました。皆様方のますますのご健康とご発展ご多幸を心から願っております。筆者 滝川美緒子さんは、機会があれば星の王子さまに関し、講演や座談会も希望されております。ご希望の方は中鉢(09001629516789)「星の王子さま」エムニムの本を広める会代表までご用命ください。知り合いの方でご希望ありましたら送料込みで一冊2千円で、お送りさせていただきます。たくさんの方は値引きも可能です。本の方は、私の独断と偏見でサイン入りの本を取り寄せ進呈させていただきますましたが、お知り合いの方や知人の方で、ご希望がありましたら中鉢までご連絡をお願いします。且つ又、尊敬するC・Wニコル先生の財団のパンフレットを同封させていただきますましたがよろしくお願ひ申し上げます。財団のボランティア活動を拝命させていただきます。最近ウクライナ支援活動もおこなっております。

会員通信

〈2022年度6月17日締切の
近況及びご意見〉

●父、青沼康男は令和4年4月4日に永眠いたしました。長い間大変お世話になりました。長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。(S19年卒/青沼康男 死去)

●今年の令和4年4月22日、76歳にて亡くなりました。生前中はいろいろお世話になりました。ありがとうございました。(S39年卒/石堂達夫 死去)

●令和4年4月23日に永眠いたしました。今後の会報、不要の手続きをお願い致します。(S45年卒/富田映二 死去)

●足腰が弱くなり出席もままなりません。退会をいたします。これまでお世話になりました。諸兄の幸運を祈ります。(S26年卒/鈴木俊男 退会)

●毎回ののご案内ありがとうございます。小生体調不調のため、脱退させていただきます。益々の発展を期待して居ります。(S32年卒/野田利美 退会)

●本年12月で84歳、恙なく過ごしていますが、晩年、後世に煩雑な始末を残したくなく「終活」の一環で諸会員の退会等整理中です。つきましては当会員も令和4年度をもって退会させていただきます。度々お願いいたします。「古高魂」を糧に有意義な人生を送らせていただき感謝します。諸氏のご活躍と会の永劫の発展を祈念しております。長い間有難うございました。(S32年卒/下屋勝退会)

●「在京古高同窓会」を退会させていただきます。体調不良にて自宅療養中。配布物等は遠慮いたします。

す。今までありがとうございます。長男 杉野守 (S37年/杉野 邦熙 退会)

●体調が思わしくなく総会等にも出席できませんので退会させていただきます。同窓会の発展を祈っております。ありがとうございます。(S38年卒/高橋忠世 退会)

●身体的理由にて退会希望。会の発展、盛衰をお祈り致します。(S41年卒/狩野民生 退会)

●ホーム暮し5年目。周りの方々の交流もあり、余生を楽しんでいます。(S24年卒/三浦澄能)

●久方ぶりに田舎に帰りました。91才で姉が亡くなり寂しい限りです。田舎の道路事情も変り、新しい路が出ております。世間話で高倉小学校も廃校になった様です。(S30年卒/渡邊吉郎)

●同期生の死に接するたびに明日はわが身？ 身辺整理の準備、間に合うか忸怩たる思いの日々。(S30年卒/門脇敏明)

●Sも遠くなりけり。いつも出席者数が多い30年組ですが、いつの間にか最年長組に。果たして何人。友、懐かしみ、万障繰り合わせて出席させてもらいます。(S30年卒/門脇喜代志)

●毎日裏山に登り、海を眺めて精気を養っております。(S31年卒/木村智明)

●庭の雑草取りに悪戦苦闘しています。直ぐに疲れてしまいます。歳にはとても叶いません。でも元氣です。(S31年卒/相澤昭男)

●82才完壁呆け老人、右膝人工関節挿入工事も終了。トボトボ徘徊老人生活突入。墜落に墜落を重ね、年間3、000km徘徊が限度です。(S33年卒/渡邊紘也)

●80才を迎え、終活に向け膨大なアルバムを整理開始。3人の子供達もそれぞれ大学院修士課程を修了、それぞれの道に、息子はコロナ中企業戦士としてベトナムに赴任、海外15年5か所目、私は海外25年で、家内と家族につきあわせてしまいました。(S35年卒/我妻一美)

●日本財団電話リレーサービスの理事長を務めております。(S35年卒/大沼直紀)

●5月で傘寿になった。新幹線が通常ダイヤに復旧で動けるうちにと古川に行った。友人の手引きで街中を見廻った。七日町は大変貌高層マンションが立ち市役所は竣工間近だ。中山平のしんとろの湯に浸かり鳴子ダム新緑で深呼吸、賑わう池月の道の駅を見て、夕方他の同級生と待ち合わせの東町の鮎屋さんと交歓。皆元氣だ。この夏に栗駒山に行つて見たい。遠くから眺めて育つたが登つたことがない。(S36年卒/高橋幸裕)

●古今東西のこと、日常生活のこと、いろいろ考えざるを得ない日々です。でも実現できることは限られています。なかなかさとり境地はむりですね。(S36年卒/大益弘)

●自治体の農業支援(主にリンゴ杏)のサポーターとして体を動かしています。(S37年卒/穴戸照男)

●78才まで還暦古希で頑張つて来たものの、高校時代、右足半月板損傷、50代では右肩靭帯損傷で投

げることが出来ず、走ることが出来ず。今年一年で野球界から卒業予定。(S37年卒/渋谷孝)

●昨年胃がんの為、7ヵ月入院しました。退院してから約10ヵ月が過ぎ体調も正常近くまで戻りつつあります。(S38年卒/菅原清春)

●5月24日岩出山小学校の近くにクマが出たとの放送がありました。何でこの季節にクマが人里へと思いましたが、この現象は新型コロナウイルスの流行の所為でしょうか？ 狂つて来たのはロシアのクマだけではないのでしょうか。(S38年卒/阿部重人)

●月3回ステージに立ちイタリア民謡やシャンソンを歌っています。(S39年卒/上野正司)

●今のところ、葉や病院の世話にならず、元気で生きています。週2回のバトミントンと、入浴時の唄と晩酌を楽しんでいます。(S41年卒/高橋秀之)

●①国内では英国のスーパーカー・アストンマーチン東京との取引でオイルが高い評価を得、他デライラーとの取引が増えています(1台2,500万円〜2億5,000万円)。②海外取引も高い評価を得、輸出額が増えています。③6/14広告費10,000円、年会費5,000円振り込みました。(S42年卒/澁谷誠一)

●会社を完全退職し、自治会活動に専念している毎日です。創立50周年をむかえるので記念事業に取り組んでいます。(S42年卒/門田芳司)

●R4年5月末会社員生活に終止符。今後は畑仕事、山登り、田舎暮らしの余生。(S43年卒/田口義昭)

●風力発電の普及促進のため、ま

たカーボンニュートラルを目指して、国内外で走り回っています。(S45年卒/荒川忠)

●久しぶりの対面での総会、良かったです。私の次男はタクシー運転手をしています。東京駅でひろつたお客様が大崎市の方で「古高はすばらしい学校です」と話していたそうです。(S46年卒/佐々木明)

●今年と同級生4人で会いましょうと計画しています。何十年ぶりの方もいますが、旧交を温めたいと思つています。(地元2名、関東2名)(S46年卒/斎藤孝)

●この6月パイオニア(株)相談役を退任し、クールジャパン機構インフロニアホールディングス(株)社外取締役に就任します。(S51年卒/森谷浩一)

●6/26は目黒ゴスペル祭、参加の為、出席できません。申し訳ございません。(S56年卒/菅原祐二)

●日本に帰国いたしました。総会当日は先約があり、欠席させていただきます。(S61年卒/渡邊博之)

編集後記

●昨年の総会で執行部の体制が大幅に変わり、若返りを果たしました。これを機に、今後「蜚雪」誌面をより充実させていきたいと思つています。

●今回は情報量の関係で、通常の8ページ建てから6ページ建てになっております。会員の皆様からの投稿をお待ちしております。(亀井)